

2022 年 2 月 20 日（日）施行

第 205 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解答

第 1 問

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	前 受 家 賃	2,022,000	受 取 家 賃	2,022,000
2	電 子 記 録 債 権	100,000	売 掛 金	100,000
3	クレジット売掛金 支払手数料	2,641,000 139,000	売 上	2,780,000
4	当 座 預 金 株 式 交 付 費	250,000,000 2,000,000	資 本 金 現 金	250,000,000 2,000,000
5	投 資 不 動 産	47,200,000	当 座 預 金	47,200,000
6	未 払 消 費 税	621,000	当 座 預 金	621,000
7	繰越利益剰余金	817,000	損 益	817,000

第 2 問

期 末 売 掛 金	期末繰越利益剰余金	当 期 純 利 益	売 上 総 利 益
¥ 476,000	¥ 246,000	¥ 123,000	¥ 2,488,000

第3問

商 品 有 高 帳
A 商 品

令 4 年	和 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1	1	前月繰越	200	300	60,000				200	300	60,000
	4	長野商店	600	700	420,000				800	600	480,000
	7	長野商店				300	700	210,000	500	540	270,000
	12	栃木商店				300	540	162,000	200	540	108,000
	19	新潟商店	800	1,040	832,000				1,000	940	940,000
	26	東京商店				700	940	658,000	300	940	282,000
	27	東京商店	50	940	47,000				350	940	329,000
	31	次月繰越				350	940	329,000			
			1,650		1,359,000	1,650		1,359,000			

純 売 上 高	売 上 原 価	売上総利益（粗利益）
¥ 3,110,000	¥ 773,000	¥ 2,337,000

第4問

①取引を擬制する（いったん全額を掛取引とみなして処理する）方法

入金伝票				出金伝票			
科	目	金	額	科	目	金	額
(売 掛 金)		(	18,000)	(買 掛 金)		(	300,000)

入金伝票				出金伝票			
科	目	金	額	科	目	金	額
(売 掛 金)		(	100,000)	(発 送 費)		(	3,000)

振替伝票(借方)				振替伝票(貸方)			
科	目	金	額	科	目	金	額
(仕 入)		(	740,000)	(買 掛 金)		(	740,000)

振替伝票(借方)				振替伝票(貸方)			
科	目	金	額	科	目	金	額
(売 掛 金)		(	218,000)	(売 上)		(	218,000)

仕 訳 集 計 表

令和4年2月3日

借	方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸	方
118,000			(現 金)		303,000	
218,000			売 掛 金		118,000	
300,000			買 掛 金		740,000	
			売 上		218,000	
740,000			仕 入			
3,000			(発 送 費)			
1,379,000					1,379,000	

②取引を分解する方法

入金伝票				出金伝票			
科	目	金	額	科	目	金	額
(売 上)		(	18,000)	(仕 入)		(	300,000)

入金伝票				出金伝票			
科	目	金	額	科	目	金	額
(売 掛 金)		(	100,000)	(発 送 費)		(	3,000)

振替伝票(借方)				振替伝票(貸方)			
科	目	金	額	科	目	金	額
(仕 入)		(	440,000)	(買 掛 金)		(	440,000)

振替伝票(借方)				振替伝票(貸方)			
科	目	金	額	科	目	金	額
(売 掛 金)		(	200,000)	(売 上)		(	200,000)

第5問

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	264,000		49,000				313,000	
当 座 預 金	897,000						897,000	
売 掛 金	450,000						450,000	
貸 倒 引 当 金		12,500		10,000				22,500
売買目的有価証券	377,000		11,000				388,000	
繰 越 商 品	743,000		692,000	743,000			692,000	
仮 払 法 人 税 等	100,000			100,000				
備 品	660,000						660,000	
備品減価償却累計額		330,000		110,000				440,000
買 掛 金		420,000		54,000				474,000
仮 受 金		498,000	498,000					
借 入 金		300,000						300,000
資 本 金		1,200,000						1,200,000
資 本 準 備 金		100,000						100,000
利 益 準 備 金		200,000						200,000
繰越利益剰余金		100,000						100,000
売 上		4,731,500				4,731,500		
受 取 手 数 料		108,000	28,000			80,000		
仕 入	2,537,000		743,000	692,000	2,588,000			
給 料	823,000		30,000		853,000			
支 払 家 賃	781,000			379,000	402,000			
支 払 手 数 料	34,000		19,000		53,000			
水 道 光 熱 費	267,000				267,000			
消 耗 品 費	67,000			51,000	16,000			
	8,000,000	8,000,000						
貸倒引当金繰入			10,000		10,000			
減 価 償 却 費			110,000		110,000			
有価証券運用損益				11,000		11,000		
消 耗 品			51,000				51,000	
雑 (益)				25,000		25,000		
(前 受 金)				498,000				498,000
(前 払 家 賃)			379,000				379,000	
(未 払) 手 数 料				19,000				19,000
(前 受) 手 数 料				28,000				28,000
法 人 税 等			180,000		180,000			
(未 払) 法 人 税 等				80,000				80,000
当期純 (利 益)					368,500			368,500
			2,800,000	2,800,000	4,847,500	4,847,500	3,830,000	3,830,000

2022年2月20日（日）施行

第205回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解説

第1問

1. 前期末に繰り延べた家賃の前受分の計上の仕訳

(借)	受取家賃	2,022,000	(貸)	前受家賃	2,022,000
-----	------	-----------	-----	------	-----------

再振替仕訳とは、前期末に行った仕訳の逆仕訳を行って収益を翌期首にもとに戻すことをいう

(借)	前受家賃	2,022,000	(貸)	受取家賃	2,022,000
-----	------	-----------	-----	------	-----------

2. 売掛金について、取引銀行を通じて電子債権記録機関に発生記録を行った場合には、売掛金勘定から電子記録債権勘定に振り替える処理をする。

3. クレジットカードによって商品を販売した場合には、クレジット売掛金勘定を用いて処理をする。

クレジット会社に対する手数料は、販売時に認識するため、販売代金の5%を支払手数料勘定を用いて処理をする。

支払手数料の金額 $¥2,780,000 \times 5\% = ¥139,000$

クレジット売掛金の金額 $¥2,780,000 - ¥139,000 = ¥2,641,000$

4. 工場新設のため、新規に株式を発行した場合には、資本金勘定を用いて処理をする。

なお、株式の発行に要した諸費用は、株式交付費勘定を用いて処理をする。

資本金の金額 $5,000 \text{ 株} \times ¥50,000 = ¥250,000,000$

5. 投資（賃貸）の目的として建物を取得した場合には、投資不動産勘定を用いて処理をする。

6. 消費税の確定申告を行い、納付額が当座預金口座から引き落とされた場合は、未払消費税勘定を用いて減少の処理をする。

消費税を計上した仕訳

(借)	仮受消費税	×××	(貸)	仮払消費税	×××
				未払消費税	621,000

消費税の確定申告を行い、納付額が当座預金口座から引き落とされた場合

(借)	未払消費税	621,000	(貸)	当座預金	621,000
-----	-------	---------	-----	------	---------

7. 当期決算において当期純損失を計上した場合には、損益勘定から繰越利益剰余金勘定へ振り替える処理をする。

当期純利益を計上した場合

(借)	損益	×××	(貸)	繰越利益剰余金	×××
-----	----	-----	-----	---------	-----

当期純損失を計上した場合

(借)	繰越利益剰余金	817,000	(貸)	損益	817,000
-----	---------	---------	-----	----	---------

第2問

売上勘定

貸借の差額 $\text{¥}8,624,000 - \text{¥}551,000 = \text{¥}8,073,000$

(借)	売	上	8,073,000	(貸)	損	益	8,073,000
-----	---	---	-----------	-----	---	---	-----------

仕入勘定

借方

繰越商品の金額 期首貸借対照表の商品（繰越商品）の金額となる。

$\text{¥}1,646,000 - (\text{¥}237,000 + \text{¥}358,000 + \text{¥}560,000) = \text{¥}491,000$

(借)	仕	入	491,000	(貸)	繰	越	商	品	491,000
-----	---	---	---------	-----	---	---	---	---	---------

貸方

繰越商品の金額 期末貸借対照表の商品（繰越商品）の金額となる。

$\text{¥}792,000$

(借)	繰	越	商	品	792,000	(貸)	仕	入	792,000
-----	---	---	---	---	---------	-----	---	---	---------

損益の金額 貸借の差額

$(\text{¥}6,540,000 + \text{¥}491,000) - (\text{¥}654,000 + \text{¥}792,000) = \text{¥}5,585,000$

(借)	損	益	5,585,000	(貸)	仕	入	5,585,000
-----	---	---	-----------	-----	---	---	-----------

損益勘定

貸借の差額（当期純利益）

$(\text{¥}8,073,000 + \text{¥}3,210,000) - (\text{¥}5,585,000 + \text{¥}5,575,000) = \underline{\underline{\text{¥}123,000}}$

(借)	損	益	123,000	(貸)	繰	越	利	益	剰	余	金	123,000
-----	---	---	---------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---------

繰越利益剰余金勘定

次期繰越（期末繰越利益剰余金）

$\text{¥}123,000 + \text{¥}123,000 = \underline{\underline{\text{¥}246,000}}$

期首貸借対照表

資本金

貸方

期首貸借対照表の繰越利益剰余金 繰越利益剰余金勘定の前期繰越の金額 $\text{¥}123,000$

合計 $\text{¥}1,646,000 - (\text{¥}436,000 + \text{¥}88,000 + \text{¥}123,000) = \text{¥}999,000$

資本金勘定

次期繰越（期末資本金）

前期繰越（期首貸借対照表の資本金） $\text{¥}999,000 + \text{¥}111,000 = \text{¥}1,110,000$

期末貸借対照表

売掛金

貸方の合計金額 $\text{¥}619,000 + \text{¥}222,000 + \text{¥}1,110,000 + \text{¥}246,000 = \text{¥}2,197,000$

$\text{¥}2,197,000 - (\text{¥}369,000 + \text{¥}792,000 + \text{¥}560,000) = \underline{\underline{\text{¥}476,000}}$

売上総利益

損益勘定 売上 $\text{¥}8,073,000 - \text{仕入} \text{¥}5,585,000 = \underline{\underline{\text{¥}2,488,000}}$

第3問

1月1日 前月繰越 200個 @¥300 ¥60,000

1月4日 商品有高帳の受入欄に記入 600個 @¥700 ¥420,000

(借) 仕	入	420,000	(貸) 買	掛	金	420,000
-------	---	---------	-------	---	---	---------

平均単価 $(¥60,000 + ¥420,000) \div (200\text{個} + 600\text{個}) = @¥600$

1月7日 商品有高帳の払出欄に記入 300個 @¥700 ¥210,000

(借) 買	掛	金	210,000	(貸) 仕	入	210,000
-------	---	---	---------	-------	---	---------

平均単価 $(¥480,000 - ¥210,000) \div (800\text{個} - 300\text{個}) = @¥540$

1月12日 商品有高帳には原価で払出欄に記入 300個 @¥540 ¥162,000

(借) 売	掛	金	900,000	(貸) 売	上	900,000
-------	---	---	---------	-------	---	---------

売上金額 $300\text{個} \times @¥3,000 = ¥900,000$

商品有高帳の残高 200個 @¥540 ¥108,000

1月19日 商品有高帳の受入欄に記入 800個 @¥1,040 ¥832,000

(借) 仕	入	832,000	(貸) 当	座	預	金	832,000
-------	---	---------	-------	---	---	---	---------

平均単価 $(¥108,000 + ¥832,000) \div (200\text{個} + 800\text{個}) = @¥940$

1月26日 商品有高帳には原価で払出欄に記入 700個 @¥940 ¥658,000

(借) 売	掛	金	2,380,000	(貸) 売	上	2,380,000
-------	---	---	-----------	-------	---	-----------

売上金額 $700\text{個} \times @¥3,400 = ¥2,380,000$

商品有高帳の残高 300個 @¥940 ¥282,000

1月27日 商品有高帳には原価で受入欄に記入 50個 @¥940 ¥47,000

(借) 売	上	170,000	(貸) 売	掛	金	170,000
-------	---	---------	-------	---	---	---------

売上返品金額 $50\text{個} \times @¥3,400 = ¥170,000$

商品有高帳の残高 350個 @¥940 ¥329,000

純売上高

$¥900,000(1/12) + ¥2,380,000(1/26) - ¥170,000(1/27) = \underline{¥3,110,000}$

売上原価：商品有高帳より

$¥162,000(1/12) + ¥658,000(1/26) - ¥47,000(1/27) = \underline{¥773,000}$

商品販売益（粗利益）

$¥3,110,000(純売上高) - ¥773,000(売上原価) = \underline{¥2,337,000}$ 商品販売益(粗利益)

第4問

① 擬制する（いったん全額を掛取引とみなして処理する）方法

2月3日

(借) 仕 入	740,000	(貸) 買 掛 金	740,000	→ 振替伝票
(借) 買 掛 金	300,000	(貸) 現 金	300,000	→ 出金伝票

2月3日

(借) 売 掛 金	218,000	(貸) 売 上	218,000	→ 振替伝票
(借) 現 金	18,000	(貸) 売 掛 金	18,000	→ 入金伝票

2月3日

(借) 発 送 費	3,000	(貸) 現 金	3,000	→ 出金伝票
-----------	-------	---------	-------	--------

2月3日

(借) 現 金	100,000	(貸) 売 掛 金	100,000	→ 入金伝票
---------	---------	-----------	---------	--------

仕訳集計表

現 金 借方 (入金伝票より)	$¥18,000 + ¥100,000 = ¥118,000$
貸方 (出金伝票より)	$¥300,000 + ¥3,000 = 303,000$
売掛金 借方 (振替伝票より)	¥218,000
貸方 (入金伝票より)	$¥18,000 + ¥100,000 = ¥118,000$
買掛金 借方 (出金伝票より)	¥300,000
貸方 (振替伝票より)	¥740,000
売 上 貸方 (振替伝票より)	¥218,000
仕 入 借方 (振替伝票より)	¥740,000
発送費 借方 (出金伝票より)	¥ 3,000

② 分解する方法

2月3日

(借) 仕 入	440,000	(貸) 買 掛 金	440,000	→ 振替伝票
(借) 仕 入	300,000	(貸) 現 金	300,000	→ 出金伝票

2月3日

(借) 売 掛 金	200,000	(貸) 売 上	200,000	→ 振替伝票
(借) 現 金	18,000	(貸) 売 上	18,000	→ 入金伝票

2月3日

(借) 発 送 費	3,000	(貸) 現 金	3,000	→ 出金伝票
-----------	-------	---------	-------	--------

2月3日

(借) 現 金	100,000	(貸) 売 掛 金	100,000	→ 入金伝票
---------	---------	-----------	---------	--------

第5問

付記事項

仮受金の処理

(借)	仮受金	498,000	(貸)	前受金	498,000
-----	-----	---------	-----	-----	---------

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高 ￥264,000

実際有高 ￥313,000

差額 ￥313,000－￥264,000＝￥49,000（実際有高に合わせるため、現金を増加させる）

買掛金 ￥139,000 を支払った際に買掛金勘定を ￥193,000 と誤記入していたため、買掛金勘定を修正する。 ￥193,000－￥139,000＝￥54,000（買掛金を増加させる）

支払った給与が記入漏れであることが判明したため、給料勘定に加算する。

残額は、原因が判明しなかったため、雑益勘定を用いて処理をする。

(借)	現金	49,000	(貸)	買掛金	54,000
	給料	30,000		雑益	25,000

2. 売上原価の算定

(借)	仕入	743,000	(貸)	繰越商品	743,000
	繰越商品	692,000		仕入	692,000

3. 貸倒引当金の見積もり

(借)	貸倒引当金繰入	10,000	(貸)	貸倒引当金	10,000
-----	---------	--------	-----	-------	--------

￥450,000×5％＝￥22,500

￥22,500－￥12,500＝￥10,000

4. 減価償却費の計上

(借)	減価償却費	110,000	(貸)	備品減価償却累計額	110,000
-----	-------	---------	-----	-----------	---------

￥660,000÷6年＝￥110,000

5. 売買目的有価証券の評価替え

(借)	売買目的有価証券	11,000	(貸)	有価証券運用損益	11,000
-----	----------	--------	-----	----------	--------

￥388,000－￥377,000＝￥11,000（有価証券運用益となる）

6. 消耗品費の処理

(借)	消耗品	51,000	(貸)	消耗品費	51,000
-----	-----	--------	-----	------	--------

7. 家賃の前払高（費用の繰り延べ）

(借)	前払家賃	379,000	(貸)	支払家賃	379,000
-----	------	---------	-----	------	---------

8. 手数料の未払高（費用の見越し）

(借)	支払手数料	19,000	(貸)	未払手数料	19,000
-----	-------	--------	-----	-------	--------

9. 手数料の前受高（収益の繰り延べ）

(借)	受取手数料	28,000	(貸)	前受手数料	28,000
-----	-------	--------	-----	-------	--------

10. 未払法人税等

(借)	法人税等	180,000	(貸)	仮払法人税等	100,000
				未払法人税等	80,000

￥600,000×30％＝￥180,000